

第 4 回 北上市立笠松小学校・和賀西小学校統合検討委員会 会議要旨

日時：2026 年 7 月 7 日（火） 18:30～20:20

参加者：（以下敬称略）

検討委員会委員 及川浩子、高橋大、高橋和恵、鈴木麻衣子、阿部小百合、小原琢光、小原麗奈、小原維久子、照井真紀子、伊藤等、名須川幸男、高橋剛、小原嘉正、早川英信、小原亥一郎、小原隆、菊池塔寿、小原幹男
北上市教育委員会教育部総務課長 嶽間澤健一郎、学校教育課長 多田義孝、総務課 岩渕麻美、高橋典男

欠席者：小原春樹、照井和仁

会議の概要：

冒頭に委員会の成立を報告し、前回議事（資料 1）の共有と論点整理表（資料 1-2）を確認した。協議では、前回（第 3 回）までの議論を踏まえ、統合の時期や校名、校歌・校章の扱いについて事務局から提示された 4 つのパターン案を基に議論を深め、選択肢を絞り込むことが主な議題となった。協議の結果、児童の心理的負担や準備期間のバランスを考慮し、「B 案」を軸に今後の検討を進めることで合意した。最後に、検討委員会だより第 3 号の方針確認、次回（第 5 回）・次々回（第 6 回）開催日程の調整。第 5 回は 7 月 24 日、第 6 回は 8 月 4 日に確定した。

次第 2. 委員長あいさつ

委員長より、本日の会議の趣旨が説明された。統合に向けた重要協議事項について事務局が作成した 4 案から絞り込みを行い、意見を集約していくことが示された。「子どもの最善の利益」の視点での協議を依頼した。

また、事務局より、委員 20 名中 18 名が出席しており、委員会規約に基づき会議が成立していることと報告した。

次第 3. 第 3 回検討委員会の議事録確認

事務局より、資料 1 と資料 1-2 に基づき、2026 年 6 月 23 日に開催された第 3 回検討委員会の議事録概要を説明した。当委員会の重要協議事項について協議を開始し、使用する校舎については笠松小学校を使用することで意見が一致したものの、統合時期・校名・校歌・校章については意見がまとまらず、継続協議が必要となったと報告した。この途中経過を資料 1-2 の表に追記した。

次第 4. 協議(1) 学校統合にかかる統合時期等の重要事項

事務局より、前回の意見の整理と、それを踏まえての 4 つの統合パターン案を提示し、各パターンのメリットや懸念点を説明した。

- **A 案（教育環境優先型）**：2027 年 4 月に統合し、複式学級を最短で解消する案。準備時間・費用が最小限で済む一方、統合の対等感への懸念がある。
- **B 案（バランス型）**：2028 年 4 月に統合する案。移行期間を設けて愛校心を醸成し、新校名・校歌・校章の準備も可能だが、スケジュールがタイトになる懸念がある。
- **C 案（新学校設置重視型）**：2029 年 4 月に新校名・校歌・校章で開校する案。十分な協議期間を確保できるが、複式学級が約 2 年間継続する。
- **D 案（段階的統合）**：2027 年 4 月にまず「笠松小学校」として統合し、翌 2028 年 4 月に新校名へ改称する案。宮崎市立生目台小学校の事例が参考にした。県内では前例がない。

委員各自で意見整理や他委員との意見交換を行った後、各委員から意見を募った。各案に対する主な意見は、以下のとおり。

- **A 案**は最短での複式学級解消ができるとして支持された一方で、「両校の対等感がない」「閉校や開校など準備期間の短さ」「統合に向けた児童の気持ち作りを緩やかに行うべき」といった理由から支持しない意見も出された。
- **C 案**は「児童に受け入れる期間を設けられる」とした指示意見があったが支持は少数であった。
- **D 案**は、両校の対等感があるとされたが、保護者や児童などの戸惑いを招きかねないとして支持されなかった。
- **B 案**が「児童や学校の準備期間がありバランスが良い」「校名を変更することも可能である」「（校名変更するのであれば）統合において両校の対等感がある」として最も多くの支持を集めた。閉校前最後の運動会などを児童に経験させることの意味を問う意見もあったが、子どもたちの気持ちの準備や教育環境づくりに 1 年程度の期間を設けるべきではないかとの見解が示された。

協議の結果、**B 案を軸に検討を進める**方向で合意が得られた。次回の委員会では、B 案を元に校名、校歌、校章について議論を深める。

協議後、以下質疑があった。

- **B 案の進め方**: B 案に基づき新校名を採用する場合、笠松小学校が「閉校」になるのか「改名」扱いになるのか質問があり、事務局はどちらの方法も可能と回答した。今後の意見を踏まえて決定する。
- **学童保育の統合**: 北上市の子育て支援課から笠松と和賀西学童に対し、学童の統合協議を開始したい旨連絡があったことが報告された。ま

た、検討委員会の議論と情報連携が取れていないことへの懸念も示された。和賀西学童は、統合検討委員会の議論が進むまでは話を保留したいとのことだった。

次第 5. その他

- 統合検討委員会だより：

事務局から、「検討委員会だより」について説明。第 3 号では、今回の第 4 回委員会を開催し、統合時期の方針を決めたことなどについて記載する予定であると説明。広報への挟み込みや小学校からの配布により、地域や保護者へ周知予定であることを報告した。

- 次回・次々回開催日：

- 決定事項：第 5 回 2026 年 7 月 24 日(金) 18:30～、第 6 回 2026 年 8 月 4 日(火) 18:30～に和賀地区交流センターで開催する。